

# 町政に「福祉の心」をとりもどします この思いでがんばっています

格差、増税・負担増の中、  
住民のくらしをよくしたい。



町議会議員・副議長

**梶田みのる**

**建設的提案で町政を動かす  
日本共産党の3議席**

暮らし・福祉を守る  
「防波堤」として

自民・公明内閣による、昨年の定率減税の半減などで、住民税の増税、それと連動した介護保険料・国保税の値上げが押しつけられました。今年さらさら、定率減税全廃などで、昨年以上の増税・負担増が6月から押し寄せます。

**積極的提案で住民の暮らしを守る**

日本共産党は、国の悪政をそのまま町民負担におしつけようとする町政と対決し、議会に暮らしを守る積極的提案をおこなってきました。

◎介護保険料・利用料の減免を継続

05年10月から、食費・居住費など利用者負担が大幅に引き上げられました。日本共産党町議団は、05年3月議会で、「障害者自立支援法案」「介護保険改悪の法案」に反対する意見書を町議会に提案、全会一致で採択しました。また、法律が成立してからは、負担増をそのまま押しつけるのではなく、町単独の支援を継続するようくり返し要求し、減免制度を継続させました。

◎武豊郵便局の集配業務廃止に反対する意見書が全会一致で可決に

昨年3月議会では、日本共産党の提案に日本共産党以外のすべての議員が反対し否決されましたが、それでもねばり強く働きかけ、6月議会では全会一致で採択されました。

**住民の立場で**

**スジを通すかどうか**

名鉄河和線四畝踏切の歩道の拡幅や、南部地域に児童クラブ（学童保育所）設置を求める町民の請願に、政和クラブ（自民）、公明党が否決をしました。日本共産党が紹介議員となつての提案だからと、町民の請願を否決するスジの通らない態度です。

日本共産党は、住民要求実現のためにその後も努力し、これらの住民の要望が実現しました。

**国政でも町政でも、悪政にきっぱり対決してこそ、住民の暮らしを守れます**

庶民大増税・負担増という国の悪政が自治体におしつけられるとき、日本共産党は悪政に真っ向から立ち向かい、介護や国保、福祉、税金の負担軽減にがんばっています。政治をゆがめる企業・団体献金をうけとらない日本共産党だからこそできることです。

**力の源**

「住民こそ主人公」これが、日本共産党の町政を動かす

町民アンケートで

町民の声を聞く活動一枚一枚お配りし、広く町民の声を聞いて、町政に反映します。昨年10月、介護保険の改悪で、「介護あつて保険なし」の事態が続出。アンケートをおこない、介護相談会を開きました。



介護の専門家や、せこゆき子元衆議院議員も参加して相談会

調査研究し、政策をまとめる活動

毎年、町民の皆さんの要求をもとに予算要望書を町に提出し、予算編成に反映させるよう建設的提案をおこなっています。

衣浦港3号地産廃処分場問題では、町民アンケートをおこない、町民の不安や声を具体的な政策にして町長に提言をだしました。

町民とともに考え、幅広く共同する活動  
産廃処分場問題では、シンポジウムを05年9月におこないました。

町議選目前となつたいま、町内の一部に、日本共産党の町議会議員を根拠のない話で中傷する発行者不明のチラシが配布されています。  
日本共産党は「なれあい」とは一切無縁の党です。正々堂々と名乗りを上げて、事実にもとづく政策論争をおこなうべきです